

## 「もし、百万円をもらったたら」

長岡市立東中学校

三年 下村 雪

「もし、百万円をもらったたら」  
あなたなら何をしますか。そもそも、百万円とは、どれほどの規模なのでしょうか。

私たち中学生の年間教育費負担額は、一人当たり約百万円です。一日分に換算しても、五千円近くになってしまいます。多くの人が知っているように、小学校から中学校の間は義務教育と呼ばれ、その費用には税金が使われています。しかし、実際の負担額を知る人は、ごく少数に限られてくると思いますが。私が知ったのも今年に入ってからです。どれくらい使われているかなど、予想もつきませんでした。とても驚きました。それと同時に、なんだか申し訳ない気持ちに襲われました。私の毎日に、五千円分の価値はあるのか。私は一年後、百万円かけても惜しくないような人になっているのか。そんな不安が頭をよぎります。もし、百万円をもらったたら、もう一度一年をやり直したい、そう思いました。しかし、そんなことはできるはずありません。だから、せめて今からでも頑張ろうと思いました。頑張るといのは、ひどく曖昧模糊

とした表現で、それだけでは真実味のないまま終わってしまいます。そこで、私は、明日からでもできることを中心に次のようなことを考えました。

一つは、学校の授業で一日二回は発言することです。学生の本分は勉強である、という言葉の通り、私たちの根底にあるべきは勉強だと思います。私も勉強は大切なことで、授業も集中して受けていきたいです。しかし、一日に一回発言すると、満足してしまう自分がいます。一回増やすだけで、毎日の価値は上がることはないかもしれませんが。それならばなおさら出来る努力はしていきたいです。

二つ目は、学校の備品を大切にすることです。私の学校では、トイレの中にトイレトペーパーがそのまま流されていたというようなことがあります。そのトイレトペーパーだって、税金によって買われたものです。このような、無意味で子供じみた行為はやめてほしいと思います。私は、そのようなことをしないでだけでなく、汚れていたら拭く、乱れていたら整えるなど、当たり前のことをしていきたいです。

私たち中学生は、毎年、見えない百万円をもらっています。ですから、私たちが考えなくてはならないのは「もし、百万円をもらったたら」ではなく、「もらった百万円をどうするか」だと思います。

あなたの毎日に、五千円の価値はありますか。あなたは一年後、百万円をかけても惜しくないような人になれますか。